

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	神岡阿曾布（西側）地区 (吉田、塩野、下小萱、上小萱、野首、東雲)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	87 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	75 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	26 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	14 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	12 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7 h a
(備考) ④の耕作面積は、神岡地域全体の面積である	

### 2 対象地区の課題

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に担い手が少ない</li> <li>・ 耕作者の高齢化が進み、後継者がいない、もしくは農業を継がない</li> <li>・ 農地所有者が農地に対して、維持しなければならないという意思が希薄である</li> <li>・ 今の農業に魅力がない（儲からない、機械も高額）そのため後継者も育たない</li> <li>・ 畦畔が大きく傾斜も強い為、法面の草刈り作業が大変である</li> <li>・ 山際部分の獣害（イノシシ）がひどい</li> <li>・ 農地を預けた人は農地管理を耕作者にまかせている</li> </ul> <p><b>【野首・下小萱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区外の担い手に預けた耕作面積が大幅に増え、地区外担い手の作付け作物の違いから、代掻き作業の時など水を使用するタイミングが以前と違い、水が足りなくなることが出てきてトラブルとなっている</li> <li>・ 地域での農地管理、インフラの管理について今後不安である</li> </ul>
---

### 3 対象地区内における課題に対する取組

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作者、所有者及び後継者の意向を聞く機会を設ける</li> <li>・ 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度を活用して地域で農地保全を維持していく</li> <li>・ 地域として守る農地と守れない農地を選定していく</li> <li>・ 今後を担えるリーダーが出てくれば集落営農も検討していく</li> </ul> <p><b>【野首・下小萱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水管理については、用水を管理している高原土地改良区、パイプラインを管理しているパイプライン組合と連携して地区外担い手と協議し水の問題を解決していく</li> <li>・ 地区外担い手とは、定期的に話し合いを行う場を設けこの地域の農地を守っていく</li> </ul>
--